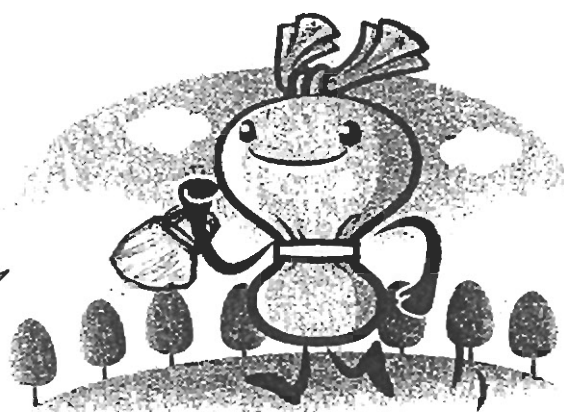


横浜市ではレジ袋削減を提唱しています

みんなで作ろう！ ごみゼロ社会

—♪ ♪いつでも持ってく マイ・バッグ ♪ ♪—

レジ袋はタダではありません。
生産するにも焼却するにもコストがかかります。



「ヨコハマはG30」マスコット
へら星人 ミーオ

レジ袋は
「いらない」
「もらわない」

レジ袋の原料は石油です。地球上の資源は減少、価格が上昇しています。一世帯が一ヶ月にもらうレジ袋は約30枚、全国では年間305億枚。もらいすぎいませんか。レジ袋1枚(9.9g)あたりの全製造エネルギーは原油に換算すると18.3ml/枚で1Lの原油から約54枚のレジ袋が作れます。ごみに出し燃やすと CO_2 (二酸化炭素)が出ます。

(出典：日本ポリオレフィン
フィルム工業組合)

地球の資源を大切に！

一人一人の小さな心づかいで地球を救う

容器包装リサイクル法が改正され、小売店に対して容器包装類の削減が義務づけられました。スーパーの日本チェーンストア協会は「年間30%を削減する」と言明しました。

レジ袋の有料店舗も出てきています。有料化した店舗からバッグの持参率が30%から80%に伸びたと有料化の効果が報告されています。レジ袋を断ることは、誰にでもすぐできることです。資源を大切に！ CO_2 発生抑制の第一歩です。

日本チェーンストア協会決定の「ノーレジ袋デー」(毎月5日)を確実に実施していただくことを再度要望します。

港北くらしの研究会